

## 図書館読み聞かせボランティア養成講座

とき／9月6日(水)、20日(水)、27日(水)、10月4日(水)、18日(水)、25日(水)、11月1日(水)の全7回(各回とも9:30～12:00)

ところ／中央図書館2階 視聴覚室

内容／ボランティアとは、読み聞かせの基礎基本、絵本の知識、教育現場での注意点、プログラムの組み方、高学年での選書

対象／読み聞かせに興味があり、講座終了後「図書館読み聞かせボランティア」として活動できる人 20人

参加料／無料

申し込み方法／8月8日(火)から中央図書館窓口または電話で申し込み

☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566



## 公演のお知らせ

市役所文化振興課  
☎ 055-949-8600



## 米村でんじろう おもしろサイエンスショー

とき／9月10日(日) ①開場 12:30 開演 13:00  
②開場 15:30 開演 16:00

ところ／アクシスかつらぎ 大ホール

チケット／【全席指定】一般 3,000円  
高校生以下 1,500円

※5歳以上は有料。5歳未満は保護者ひざ上1人無料。

チケット販売所／

▶アクシスかつらぎ(☎ 055-948-0225)

▶葦山時代劇場(☎ 055-949-8600)

▶ローソンチケット(Lコード:41885)

▶チケットぴあ(Pコード:635-388)

※セブンイレブン、サークルK・サンクスでもお求めになれます。

※電話予約はアクシスかつらぎのみで受け付けます。

残席数は必ず各販売所に問い合わせください。

## 図書館だより

今月のおすすめ ～夏のおいしいもの～

色が赤と緑で、夏においしいたべものと言えば。スイカやトマトを食べた日は、絵本も楽しんでください。



『ねらってるねらってる』  
東君平(文) 杉浦範茂(絵)

男の子が庭でスイカを食べていると、ハエがとんできました。そのハエをクモが、クモをスズメが、ねらっています。男の子は何も知りません。【中央】



『ハナちゃんのトマト』  
市川里美(作)

トマトの苗を買ってもらったハナちゃん。夏休み、おばあちゃんの家へ行っていき、おばあちゃんのとトマトと一緒に育てます。【葦山】

### 読書感想文の課題図書

夏休み期間中、中央・葦山の各図書館でそれぞれ課題図書のコーナーを設けています。課題図書は、利用が多いため、1人1回1冊まで、貸出し期間は1週間です。多くの人が利用できるよう、ご協力をお願いします。



図書館カレンダー  
モバイル版QRコード

■『すいか!』石津ちひろ(文) 村上康成(絵) 【葦山】

■『すいかのめいさんち』平田昌広(作) 平田景(絵) 【中央】

■『すいかのたねーばばあちゃんのおはなし』さとうわきこ(作) 【中央・葦山】

■『まっかっかトマト』いわずゆうこ(さく) 【葦山】

■『トマトさん』田中清代(さく) 【中央・葦山】

■『トマトのひみつ』山口進(文・写真) 【中央・葦山】

8月の 休館日	中央図書館	7日(月)、11日(金・祝)、14日(月)、21日(月)、25日(金)、28日(月)	葦山図書館	2日(水)、9日(水)、11日(金・祝)、16日(水)、23日(水)、25日(金)、30日(水)
------------	-------	--	-------	--

開館時間(共通) 9:00～17:30 ☎ 中央図書館 ☎ 0558-76-5566

図書館ホームページ <http://www.izunokuni.library-town.com/>

### 8月のおはなし会

※いずれも土曜日

中央図書館

12日 11:00～

葦山図書館

12日、26日 14:00～

あやめ会館

19日 10:30～

## 文化財通信

その146

### 山木遺跡出土の旅してきた土器

市役所文化財課  
☎ 055-948-1428

山木遺跡は、弥生時代後期から古墳時代前期(3世紀中ごろから4世紀はじめ)にかけての、葦山山木を中心に所在する131ヘクタールにおよぶ広大な遺跡です。発掘調査は、戦後間もない昭和25年(1950)から19回行われています。特に、昭和25年の堂川の河川改修工事に伴う発掘調査で発見された遺物は、弥生時代の人々の生活を物語る貴重な資料として、国指定重要有形民俗文化財「山木遺跡出土の生産・生活用具」に指定されています。

山木遺跡の発掘調査では、大量の土器や木製品が出土します。その中に「顔つきの違う土器」が出土することがあります。これらは地元(土器とは違う)遠く離れた地域の土器だとわかりました。土器の形などの特徴から、遠く山陰(島根県・鳥取県あたり)や北陸(福井県・石川県あたり)、近畿(大阪府・奈良県あたり)、尾張(名古屋周辺)、関東(神奈川県・東京都)、遠江(静岡県西部)で作られた土器だとわかりました。

これらの土器は、数百キロにもおよぶ距離をどのようにして山木遺跡にやってきたのでしょうか。何かの容器



山木遺跡で使われていた土器



愛知県西部で作られて山木遺跡まで運ばれた土器

として、または土器とともに人が移住してきたのかもしれない。理由はわかりませんが、これらの土器は、山木遺跡が遠隔地と交流していた証拠となるものです。また、この地域のほかの遺跡にはない山木遺跡の特徴といえるものです。

これらの土器を8月1日から1カ月間、伊豆の国市郷土資料館で展示しています。地元(土器とほか)の地域の土器の違いを実際にご覧ください。